

強い農業づくり交付金における地域提案メニューの活用事例

整備事業

都道府県名	福岡県	市町村名		地区名	
事業実施主体名(管理主体名)	福岡県酪農業協同組合連合会(同左)				
施設等導入年度	平成17年度				
対象作目(作物名)	酪農(乳牛)				
導入施設等名	発情発見システム				

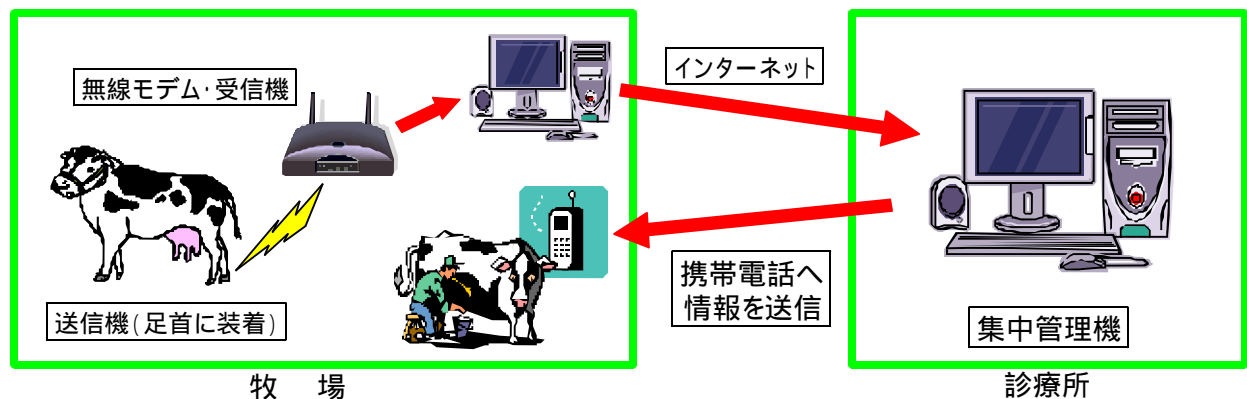
第1 実施地区の概要

本県は乳用牛飼養頭数 21,600 頭、酪農家戸数 405 戸、1 戸当たり飼養頭数 53.3 頭であり、九州では熊本県に次いで酪農が盛んである。県人口は 500 万を超え、都市化、混住化がいっそう進展する中、生産効率の高い酪農経営が求められている。

第2 施設導入の背景及び目的等

乳牛の分娩間隔の延長は生乳生産効率の低下、経費上昇の原因として酪農経営を圧迫しており、適期の人工授精による繁殖成績の向上が求められている。そのため、乳牛の運動量の増減から発情の発見及び発情の確認をおこなうことができるシステムを導入し、以て繁殖成績の向上に資するものとする。

第3 導入した施設等の概要



乳牛の足首に装着された送信機が行動データを送信。データは各牧場の受信機等を経てインターネットを介して診療所の集中管理機に転送。集中管理機では、送信されたデータを蓄積・分析し、発情時期等を特定。情報は随時、農家の携帯電話へメールにて転送される。



発情発見システム(送信機)を装着した牛



牛舎に設置された受信機